

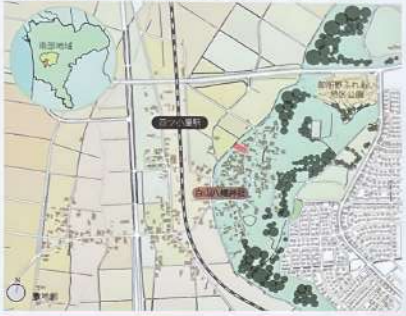
繋がりと隔たり

- 移り変わる私たちの部屋 -



01 SITE | 田園と町並みの調和

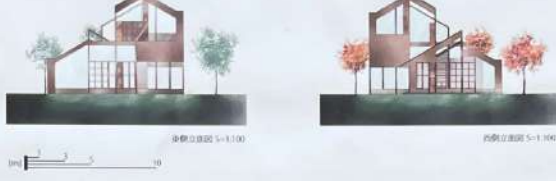
秋田県西小浜町小浜地区の下にある田園から田舎が広がる場所を敷地対象として設定する。都市計画のまちづくり構想において、自然と調和し田舎風情を受け取る高層型住宅にしたい。都市部と田舎の間にある自然環境と田舎風情を受け取る高層型住宅にしたい。都市部と田舎の間にある自然環境と田舎風情を受け取る高層型住宅にしたい。



02 CONCEPT | 「私の部屋」から始める1日へ

今日、このライフスタイルで暮らす時間が多くなり、家という移動の中でワークライフは物理的・精神的に近接するようになった。家族との距離感や繋がり、新しい機能など、ポストコロナを考える上でも家でのコミュニティやアクティビティの豊かさが求められている。テレワークで出勤がなくなったことや不登校の外出の機会と、家それぞれの自分の時間と空間に多様性と個性が求められている中で、個室などのプライベート空間を中心とした生活が今後の住宅のあり方であり、そこから始める1日ではないか。自分の部屋から始める1日を考える。

また、今回のテーマであるワークスペースは日常生活の中で様々な空間を確保するよう様々な繋がり、家族の生活に対応し柔軟性・変換性が求められる。今までの生活の中心であったリビングなどの共有スペースと同様に私空間が多くの個性性や多様性が生じる。家族ワークスペースの構築ワークスペースを生活の中で見つけていく。ワークスペースで私空間と共有空間に繋がり解く考え、新しい家族の繋がり方を考える提案である。



03 全体構成

自然と繋がり
自然環境や地形の繋がりから、道路に2階と南側に1階レベルの縁側を配置する。
2階に設けることで、2つの自然との繋がりを考える。
1つは、住宅と外部のアプローチを、道路とのファサードではなく、北側の縁側へ結びたい私空間とする。
2つは、手取道に中庭を設けることで、中庭の自然と外部の自然の間での生活を想像する。



また、このような全体構成とそこで30度の屋根で覆う。夏には自然と涼風を確保し、冬には、より多くの採光と暖房を確保するための空間が生まれる。



収納棚で形成するパッシブデザイン住宅

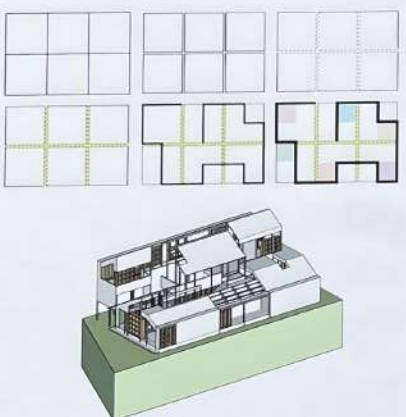
従来の収納棚は、空間の自由性を家賃にもたらす同時に、幅400mmを基準に設計している。
棚の深さにより自然光の採光を落とすとともに、可動式であることから、生活上で自然との距離感を保つことができる。
住宅を構成するファサードデザインとして、個性性を果たせる。

2階平面図 5-1100

04 DESIGN APPROACH | 家族間の繋がり方

01 美しい日常
敷地状況から車道に広がる縁側とアプローチが読み取れる。屋根と床をすらし、内部への取り込みと採光的なアプローチで外との距離感を意識する。それぞれの独立した空間のデザインにより、家族は「住宅」から「部屋」としての生活の肌触りを感じ取る。

02 グラデーション
従来の住宅では、私空間と共有空間が明確に区別され、そこからは繋がり方に限定がある。それぞれの空間に個性を与え、新しい繋がり方を考える。棚上に形成された空間は、自然性と柔軟性をもち、空間の間にグラデーションをもたせる。



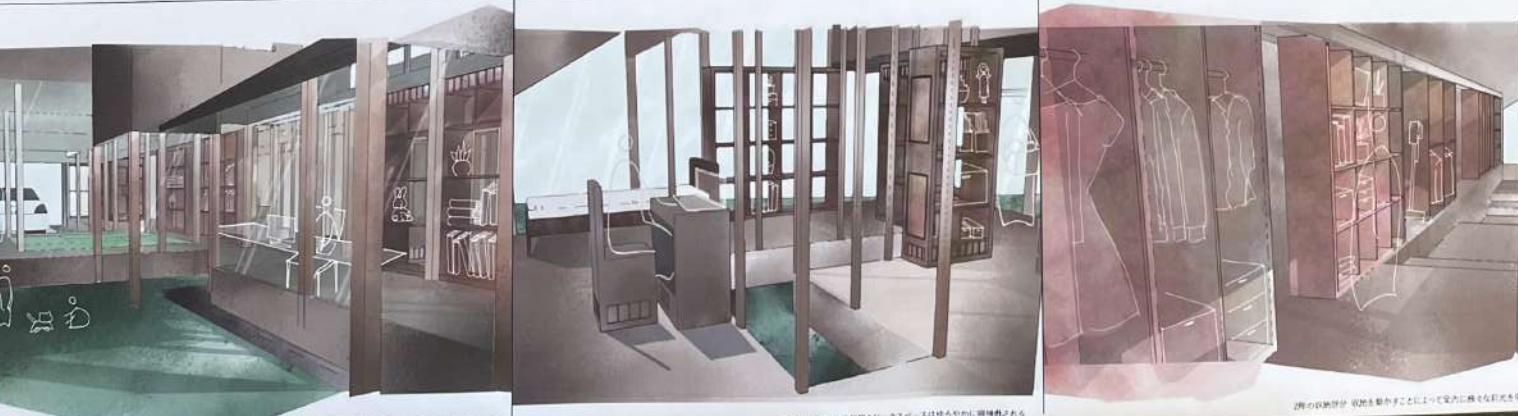
05 FLOOR PLAN

06 収納レイアウト計画

私空間
共有空間

【豊かな暮らしが楽しめる収納づくり】
玄関・勝手口エントランス。家族それぞれの洋服、共有スペース(LDK)で考えられる収納空間を確保すると共に、複数のワークスペースを設け、私空間と共有空間の機能性を両立させる。
収納は生活に寄り添い、空間を柔軟に。生活に合わせられる。

07 PERSPECTIVE



高層ワークスペースをつくらぬ。子供部屋とワークスペースはゆるやかに隣接させる
中庭によって子供部屋とワークスペースはゆるやかに隣接させる
縁側の収納棚は、収納を豊かにすることで空間の開放性を高めていく